(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 210-0862

住 所 神奈川県川崎市川崎区浮島町12番3号

氏 名 日本物流センター株式会社 代表取締役 前田 茂

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎	市地	球温	暖化す	寸策	等の推進に	関する多	条例第11条第	1 頃 0	り規定により、次のとお	3り提出します。	
又	業 者 は		D 氏 名	名称	日本物流セ	ンター	朱式会社				
主 7 又は	た る 事業	5 事	事 務 の所在	所:地	川崎市						
					☑ 規則第	4条第	1 号該当事業者	Í			
					□ 規則第4条第2号該当事業者						
該 当 の	当す	る要	事 業	者件	□ 規則第	4条第	3 号該当事業者	Í			
					□ 規則第	4条第	4 号該当事業者	Í			
					□ 上記以	外の事	業者(任意提出	事業	者)		
主	た	る。	事	業	大分類	Н	運輸業,郵便	業			
の		業		種	中分類	中分類 47 倉庫業					
主 の	た	る内	事	業容	冷蔵冷凍倉	庫業・特	物流センター業	ŧ			
					☑ 原油換算エネルギー使用量				4, 370	k l	
事	業 者	首 0	り規	模	□ 自動車の台数					台	
							起源の二酸化 果ガスの排出			t -CO ₂	
					扣水如盘	担 当 部 署 名					
					担当部署	所	在 地				
連		絡		先		電話番	号				
						F A X a					
				メ	ールアー	ドレス					
\• <u>/</u>						*	※事業者番	号			
※ 受付						特					
付						記事					
欄						項					

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022	年度	~	2024	年度	(報告年度	2022	年度分)
温室効果ガスの排出の量の 削減目標の達成状況及び温 室効果ガスの排出の量		†様式第	2号の	とおり				
温室効果ガスの排出の量の 削減目標を達成するための 措置の実施状況		┼様式第	2号の	とおり				
他の者の温室効果ガスの排 出の抑制等に寄与する措置 の実施状況		┼様式第	2号の	とおり				
その他地球温暖化対策の推 進への貢献に係る事項	別添 指釒	†様式第	2号の	とおり				
備考								

- 備考 1
- 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。 4 ※印の欄は記入しないでください。

事業活動地球温暖化対策結果報告

- 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1、2、4号該当者等)
- (1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度			第1年度				第2年度		第3年度		標力	非占	出量
	(2021	年度)	(2022	年度)	(年度)	(年度)	目	121. 1	/I F	
排 出 量	(実)	8, 960		(実)	7, 834		(実)		(実)		(実)	8, 3	389	
(t -CO2)	(調)	10, 083		(調)	9, 046		(調)		(調)		(調)			
削減率				(実)	12. 6	%	(実)	%	(実)	%	(実)	6	6. 4	%
削				(調)	10.3	%	(調)	%	(調)	%	(調)			%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(任意記載)

原単位	等の活動量	平均気温、	入庫数量	原単位等の単位	t-002/°C、万ト _ン	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2021 年度)	(2022 年度)	(年度)	(年度)		
排出量原単位 等 の 値	227. 8	195. 0			221	
活動量の値	39	40			-	
排出量原単位 等の削減率		14. 4 %	%	%	3. 0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	電力使用量の減少によって基準年度に対し 月にF級A側冷凍機を更新したことにより電	ンて温室効果ガス排出量が12.6%減少した。2022年6 電力使用量を削減することが出来た。
第2年度		
第3年度		
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
-	上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)(任意記載)

- 3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況
- (1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

Н.	120-491 (1 11 11	
	計画	 ○推進体制の整備 ・部署単位で具体的な省エネ活動ができる仕組みを構築する。 ・省エネに関する研修体制を整備する。 ・定期的に省エネ推進委員会を開催し、対策や課題等について周知を図る。 ○主要設備等の保全管理 ・電力使用割合の高い設備を主体に設備単位によるエネルギー管理等の徹底を図る。 ○冷凍設備の省動力化 ・冷凍設備の冷凍機本体や2次冷媒&熱交換器の省動力化を費用対効果で検討する。 ○エネルギー効率の高い業務用機器の選定 ・フォークリフト用バッテリーは劣化が進んで効率が低下する為、買換えを進
	第1年度	○冷凍設備の省動力化 ・F級A側冷凍設備の更新。
	第2年度	
	第3年度	
		ける取組の評価 報告時に記載)

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

	· - · · · ·						The contract of the contract o
再生 等	可能エネ の	ベルギ [、] 種	一源	追の	加 検 有	討無	検 討 結 果
太	陽		光		×		
風			力		×		
バ	イオ	マ	ス		×		
未利	用エス	ネルコ	1		×		
その	他 ()				
その	他 ()				

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の 価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	規模:1,000kW、導入場所:東京事業所倉庫棟屋上	10年
	2022年度太陽光発電実績:1, 305, 840kwh	

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有 無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電 設備	×	その他(
EV、PHV、FCV	×	その他(

4 他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計画	無し
第1年度	無し
第2年度	
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計画	1. グリーン購入の推進を行う 2. 事業所内でのアイドリングストップの促進 3. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。 4. 川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)への参加を行う。 5. フォークリフトバッテリーの購入を実施し、充電に関わる電力を削減する。 6. 冷凍機の省エネ改良の可能性を検討する。 7. 冷凍保安技術講習会に参加し、冷凍機の省エネ技術を学習する。
第1年度	2. 事業所内でのアイドリングストップの実施 5. フォークリフトバッテリーの購入を実施し、充電に関わる電力を削減した。 6. 省エネ型冷凍機の導入。A側冷凍設備の更新(2021年6月着エ2022年6月完工) 7. 冷凍保安技術講習会に参加し、冷凍機の省エネ技術を学習した。
第2年度	
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源 CO_2 の排出の量等の推移(1、2 号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	8,960 t-CO ₂	7 , 834 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	4, 649 KL	4 , 370 KL	KL	KL
事業所の数	1	1		

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

ク						
事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量(t-CO ₂)				
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	
東京事業所	神奈川県川崎市川崎区浮島町12番3号	8, 960	7, 834			

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

7 室中中における中間の原面映算ニイルト 使用重加 300ki 以上 1,300ki 不順の事業所						
事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量(t-CO ₂)				
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	